

## 第8回北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会での主な意見

### 総合戦略全般

- ・全体的には人口を含め、良くなっていると思う。
- ・人口改善は、何か一つやれば効果が出るわけではないので、様々なことに取り組む必要がある。

### I 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ・地元企業の良さをしっかり伝えていくことが重要。
- ・若者を採用して長く働いてもらえるような体質づくりをする努力が足りない企業が多い。働き方等に関して新しい取組をしている企業を意識的に持ち上げて全国的に有名にしていくことで市内の企業のイメージアップを図ってはどうか。

### II 北九州市への新しいひとの流れをつくる

- ・福岡市には小倉城のような天守閣を持つ城がないので、うまく活用することが重要。
- ・多言語表記や英語を話せる案内人など、東京のようにインバウンド客に対して細やかな対応ができると人気度が違ってくるのではないか。

### III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・女性でも元気な人は潜在的に多くおり、女性の活躍がまちの活力になる。起業するような積極的な人の支援と同時に、産後などの女性の社会復帰を後押しする仕組みが大事だと思う。
- ・子どもが小さいうちはしっかり母親が子どもに向き合うことが大切なので、女性の就業率は上げていくというよりも、女性が子育て中離職してもよい環境づくりの方が大切なのは。(休業後は必ず同じ部署に戻れるなど)

(裏面に続く)

#### IV 時代に合った魅力的な都市をつくる

- ・都心（小倉北区）のように、住環境を整えば人口は増えるのではないか。折尾駅も新しくなって利便性が増せば社会動態の改善につながるだろう。
- ・北九州の企業人による「小学校応援団」などの取組がシビックプライドの醸成につながるのではないか。
- ・「近代日本を作ったのはこの街である」という意識が浸透することで、シビックプライドの意識は高まっていくのではないか。
- ・ミクスタでは是非コンサートをしてほしい。市内には興行主がなかなかいないので難しいかもしれないが、頑張してほしい。
- ・北九州ブランド向上のためには、行政だけに任せるのではなく、個々の企業が行動にうつし、頑張る必要があると考えている。
- ・小倉の繁華街を明るくする運動（ライトアップ）も少しずつ成果が挙がりつつある。
- ・今後は広域から人やものを集めていくことが大切。本市がその中核都市としての可能性があるということをもっとアピールしていくべき。
- ・（市民向けのPRではなく）外部からの高い評価が市民の自信につながると思う。
- ・小倉織は贈り物としてもとても評価が高いので、今後もっと売り出していけないか。